



「み」 みんななかよく
 「や」 やりとげよう 最後まで
 「じ」 自分からすすんでがんばる

みやじっ子に



宮地小だより

令和8年度
 10月号
 校長 大住 和行



宮地小 スマイル・プロジェクト 2026



本校では、「スマイル・プロジェクト」に取り組んでいます。

この「スマイル・プロジェクト」は、子供の気になる行動を叱ったり罰したりすることのみに注力するのではなく、目標とする望ましい行動を子供たちと共有して、その行動が見られたときに認めたり、ほめたりしていこうという取組です。認めたり、ほめたりするのは教師ばかりではありません。子供たちもお互いの行動を認めたり、ほめたりすることが、関係性をよりよくしていくことにつながります。

各クラスの子供たちが目標として立てた「望ましい行動」の一部を紹介します。

【1年生】

たくさんの友だちとあいさつをし合おう

【2年生】

友だちのいいところ(きらい)を見つけよう

【3年生】

よかったところを見つけて、帰りの会で伝える

【4年生】

自分の気持ちをはっきりと伝えよう

【5年生】

お互いに思いやりをもった言動をする

【6年生】

みんなを遊びに誘う

【にこにこルーム】

「ありがとう」と言えることを見つけよう

【わくわくルーム】

ふわふわ言葉をいっぱい使おう



中村さんから学んだ 平和と人権

～ 長崎修学旅行にて ～



10月4・5日に、6年生24人は、一泊二日で長崎修学旅行に行きました。

1日目は、平和と人権についての学習を行いました。2日目は、ハウステンボスで子供たちは班ごとに行きたいアトラクションなどを巡りました。

1日目の最初の学習は、平和と人権についての講話でした。

2歳の時に被爆された中村さんから、ご自身の体験についてのお話を伺いました。中村さんは、被爆により頭にけがをされました。そのことで、学校では周りの子供たちからばかにされていたそうです。また、担任の先生は、中村さんのことを名前では呼ばずに「ゲンバク」と呼ばれていたそうです。

講話の中で、中村さんが小学校の卒業証書を見せてくださいました。その卒業証書には、同級生から破られた跡が残っていました。いじめを受けても負けずに登校して、自分を支えてくれたお母さんに贈ろうと思っておられた卒業証書まで破られてしまったとのことでした。

6年生は、中村さんの話をしっかりと受け止めていることが、その姿から伝わりました。よく「目と耳と心で聴く」と言いますが、この時の6年生の姿勢はまさにそんな聴き方でした。

中村さんの話をとおして、6年生は、戦争がいかに人を傷つけるものであるのか、長い時間が経ってもいじめが心に残って苦しむ人がいるということ、そして人を大切にすることを学んだことと思います。